

受験上の注意事項

1. 使用する電卓

- (1) 12桁で試験場に電源を求めないもの。
- (2) グランドトータルキーのついているもの。
- (3) メモリーキーやパーセントキーのついているもの。

2. 乗算及び除算について

(1) 端数処理

- ① 無名数は段位及び1級は小数第5位未満，2級は小数第4位未満，3級は小数第3位未満をそれぞれ四捨五入。

「無名数」とは単位記号名のない数、「名数」とは単位記号名のある数のこと。円の記号「¥」がついているのが名数。

小数第3位未満の端数とは、小数点から右に数えて4つ目以降の数字のことをいい、例えば電卓の表示窓が $\boxed{3.287501}$ である場合、“501”の部分のこと。

円位未満の端数とは1円未満の数字、つまり小数のこと。日本の貨幣の最小は1円なので、計算において1円未満の数字が出たときには端数処理をなさい、とのこと。

端数処理には「切り上げ」「切り捨て」「四捨五入」の3種類がある。

- ② 名数は、すべて円位未満四捨五入。
 - ③ パーセントは小計及び合計に対する比率をパーセントの小数第2位未満四捨五入。
- #### (2) 小計・合計

- ① グランドトータルキー，メモリーキーを用いること。
- ② 乗算及び除算についての端数処理に12桁を超える電卓を使用した場合でも解答は12桁以内とする。

3. 複合算について

端数処理は1題の解答について行うのではなく、**1計算ごと**に行う。

- ① 段位・1級は小数第3位未満切り捨てとする。
- ② 2級・3級は整数未満切り捨てとする。
- ③ 4級は端数処理はなし。

4. 答案記入上の注意

- (1) 小数には、小数点「.」をつけること。
- (2) カンマは整数部分4桁以上に3位ごとにカンマ「,」をつけること。
- (3) 名数は円の記号「¥」をつけなくともよい。
- (4) 端数処理した答は次のように扱う。(小数第3位未満の端数を四捨五入)
- (5) ボールペンは不可。

【電卓表示窓】

0. 3 6 9 5 → 0. 3 7 0 0. 3 7 . 3 7 0 . 3 7 (正)
2. 3 0 0 1 → 2. 3 0 0 2. 3 (正) 2. 3 0 (誤)

○答の書き方について

- (1) 1つの数字が他の数字に読めたり、数字が判読できないものは無効です。
- (2) 整数部分の4桁以上に3位ごとのカンマ(,)や整数未満には小数点(.)を必ず付けてください。電卓に便宜上表示されている上付きカンマは無効です。
カンマは数字の下側に左向き、小数点は数字の下側に右向きにするなど明確に区別してください。
- (3) 答を訂正する場合は、数字の全部を横線または消しゴムで消して書き直してください。部分訂正は無効です。訂正により解答欄に書けない場合は、番号または矢印を添えるなどしてその番号の答とわかるよう欄外に記入してください。
- (4) 答の縦書きや2行以上書いてあるものは無効です。
- (5) 名数問題の答に¥記号がなくても有効です。
- (6) 乗算及び除算の小計・合計は、グラントータルキー、メモリキーを使用し、端数処理に12桁を超える電卓を使用した場合でも答は12桁以内とします。